



はなみずき

成生小学校 学校だより
令和7年10月30日 No.9
校長 渡邊 隆

歌が結ぶ感動と心

今年度からはじめた取り組みとして、天童四中の2年生と3年生が成生小学校に来校し、子供たちと合唱交流を行いました。これは、四中生の活躍を地域に広げていく一貫として行われたものです。最初に、成生小学校の子供たちからこれまで練習してきた「気球にのってどこまでも」を元気よく、精一杯の声で中学生に伝えました。子供たちの歌声に中学生たちも驚いた様子でした。次に、四中生の発表です。まず、2年生全学年での合唱です。成生小の子供たちは、これまで触れたことのない重みのある声と、きれいな高音の響きにびっくりした様子でしたが、その力強さに引き込まれるように聞き入っていました。最後に、3年生の合唱です。クラスごと2つの学級に分かれての発表となりました。2年生とは違い、少ない人数でも一人ひとりが自分のもっている力を存分に発揮し、言葉に気持ちを込めたすがすがしい響きの歌声を披露していました。特に、来年中学生になる6年生の人たちが憧れの目で見つめる様子が印象的でした。これからの子供たちの歌の活動に期待が膨らむところです。

天童四中との合唱交流の振り返り（6年生）

小学生とはレベルが違うなと思いました。クラス発表では6年生と同じくらい的人数なのに、歌が聞きやすかったし、高音、低音などきちんとしていてよかったです。

久しぶりにたくさんの中学生の姿を見て、すごくかっこよかったです。きれいな歌声を聞くことができ、中学校に入ることがワクワクしてきました。中学生になったら合唱コンクールなどもあると思うので、今回の中学生を見習ってみたいです。



秋の短距離走記録会

10月17日(金)、前日の雨模様がうそのように晴れ上がり、絶好の記録会日和となりました。グラウンドの状態も適度な湿り気があって走りやすくなりました。保護者の方や地域の方からたくさんの参観をいただいた中で、子供たちは今持っている力を存分に発揮して走り切ってくれました。目標としていたタイムを超えることができた人、もう少しだった人も、春の時の自分の記録より向上できたと思われまふ。たくさんの人の見ている前で走る緊張感は、いろいろなことを教えてくれます。思いがけない力が出ること、思ってもいない失敗をしてしまうこと、不思議と集中して取り組めること、など様々なことが体験できました。これからは、心と体が一体となる心地よさを体育の学習で味わいながら、体力向上に努めていきたいと思ひます。



カクレミヨの放流

10月16日（木）に、大清水地区の押切川河川敷でカクレミヨ放流会を行いました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、4年生が参加しました。カクレミヨを飼育されている武田さんより、川に放す際の注意点などをお聞きした後、川の水を入れたコップに2匹程入れてもらい、一斉に放流を行いました。すべてのカクレミヨが生き残るわけではないのですが、自然の中を生き抜いて、これまで以上に繁殖してくれることを期待したいと思います。学校では、その他、7匹ほど分けていただいたカクレミヨを大事に飼育していく予定です。



学校保健委員会

10月21日（火）に、学校保健委員会を実施しました。当日は、学校医の先生はじめPTA 役員の方々に参加いただきました。本校では、養護教諭が中心となり、生活リズムづくりに取り組んでいます。子供たちの朝起きられないという実態から、メディアコントロールが必要だということで、学習で使用するiPad も含めてどのように対応していくか話し合われました。特に、目黒先生からは小学生の睡眠時間についてご指摘があり、9時間から12時間確保するために、遅くとも午後9時30分には寝るようにしないといけないという話をいただきました。保護者の方も自分自身のスマホ等の使い方と併せて、どのように家庭で実践していくか話題提供になったと思われます。今回のことをきっかけにしてさらに活動の充実を図っていきたいと思っています。



1年

校外学習の様子

2年

写真で紹介します



3年

